

# けありんぐ

坂井地区医師会  
ケアセンター  
広報紙  
2015/1 新春号  
Vol. 3



## 新年のご挨拶

### 坂井地区医師会 会長 大嶋 一英



新年あけましておめでとうございます。当ケアセンターは平成12年5月の設立以来今年で15年目に入ります。まずは無事に新しい年を迎えることができましたことを代表者として当ケアセンターに関係する皆様に心から感謝申し上げます。今年も昨年以上により質の良いケアサービスの実践に取り組むことはもちろん、利用者の皆様の安全・安心を第一に心掛け、また会員の皆様にも利用しやすい事業所をめざし、スタッフ一丸となり頑張りたいと存じます。当ケアセンターを利用させていただく皆様のご多幸を祈念し、当ケアセンターがさらなる飛躍を遂げることを期待し、新年の挨拶とさせていただきます。

### ケアセンター運営担当理事 坂井 健志



新年あけましておめでとうございます。旧年中は皆様のお陰をもちまして、順調にケアセンターを運営することができました。また、当ケアセンターが利用者様、関係事業所様、そして医師会員の在宅療養(ケア)の輪(リング)を充実させる一助となればと願い、この広報誌を発刊することができました。まだ3号目ですが、回を重ねるごとに「リング」の広がりを感じております。今年は関係する皆様からのより多くのご意見ご要望に耳を傾け、より良い情報を発信し、さらなるケアリングの充実に努めたいと思います。ケアセンターともどもご支援をいただければ幸いです。

### ケアセンター統括責任者兼事務長 道地 菊代



謹んで新年のお喜びを申し上げます。昨年中は、ご利用者の皆様やご家族様そして地域の皆様より、温かいご支援やご理解を賜り厚く御礼申し上げます。  
当ケアセンターは、今年15年目を迎えますが、今一度原点に戻り、安全で安心な信頼される施設作りをモットーに職員一同努力してまいりたいと思います。今後75歳以上の高齢者人口がピークを迎える2025年(2025年問題)に向けて、在宅医療・介護が益々必要とされる中、当ケアセンターは「医療と密着した介護サービス、地域に密着した福祉の拠点」として、介護の相談からサービスの提供まで迅速に対応させていただきます。  
今年も皆様からのご指導ご鞭撻をよろしくようお願い申し上げ、新年の挨拶といたします。

医師会立だからこそできる医療と密着した介護サービスがモットー



## 各事業所部会長より新年のご挨拶



訪問看護ステーション（あわら事業所） TEL 73-5377  
（霞の郷） TEL 68-5075



### 訪問看護ステーション部会長 安念 悟



新年あけましておめでとうございます。前任の(故)宮崎茂夫先生、代理の汐見俊一先生の後を受けて、2年前より部会長を務めさせていただいております。専門は整形外科で、当初は訪問看護や他の介護事業のこともよくわかりませんでした。最近では当ケアセンターの役割も理解できるようになりました。

そんな中で、「けありんぐ」の第1号、第2号を読みましたところ、ひげを剃って看護師を心待ちにしているおじいちゃんがいらっしやったり、訪問看護を続けていて状態が良くなって、通所サービスが利用できるようになった方がいらっしやったりすることを知り、当ステーションが利用者様の役に立っていることがわかり、安堵いたしました。

さらに、サービスを向上させていく様、スタッフ一同、力を注いでまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

### 居宅介護支援事業所

TEL 73-8720



### 居宅介護支援事業所部会長 本多 徳行



新年あけましておめでとうございます。

一昨年より、当センターの居宅介護支援事業所の部会長を務めている本多です。私は、丸岡にて耳鼻科を開業しています。内科医ではないので、直接、訪問診療などで患者さんの自宅へ出向く機会はありませんが、ますます高齢化が進む中、歯科診療のように、専門医の訪問診療も必要になってくるのではないかと思います。

さて、昨年、「地域包括ケアシステム(住まい及び自立して日常生活の支援が包括的に確保される状態)」構築にむけて、ケアマネジャーの役割はますます重要視される場所です。当事業所のケアマネジャーも研修会や勉強会に参加しながら自己研鑽に努めているところです。今年度も引き続き各ケアマネジャーが自己研鑽等をバックアップしながら、地域の課題について各関係者と連携図り、積極的に取り組んで、利用者様により適した医療や介護だけでなく生活環境も提供できるプラン作りができるよう頑張りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

## 26年の振り返りと27年の抱負

ヘルパーステーション(訪問介護事業所)

TEL 73-8390

ヘルパーステーション部会長 藤井 俊哉



新年あけましておめでとうございます。

平素より当事業へのご理解、ご協力或いはご利用をいただき有難く存じます。

当事業は、介護保険法の趣旨に基づき、利用者様の生活に密接したサービスを行うことにより、生活機能の低下を防止し、在宅でより生き生きとした日々を過ごせるよう、サポートすることを目的としています。当事業所では昨年慢性的なスタッフ不足に苦しみながらも、他事業所の協力を得ながら、何とか乗り切ることが出来ました。訪問介護事業は介護報酬の低さと時間の変則性のため年々就労希望者が減ってきております。しかし高齢者の在宅療養には最も必要とされる分野であり、当ケアセンターでは今後も事業を継続していく所存で、本年は旧年以上に職場環境の整備やスタッフの資質向上を図り、地域の皆様により愛されるような事業活動を展開してまいりたいと存じますので、よろしくお願い申し上げます。

デイサービスセンター(通所介護事業所)

TEL 73-8710

デイサービスセンター部会長 越野 雄祐



新年あけましておめでとうございます。

当センターのデイサービス事業の部会長を務めている越野です。

平成23年度の増改築以来、約3年が経過しました。お陰様で利用者数は確実に増加しています。とりわけ医療度・介護度の高い人を受け入れることが多くなり、その分入退院が頻繁になるなど、利用者数は増減を繰り返しながらも、ほぼ毎日定員の80~100%が利用されております。

平成26年度は従来のリハビリやレクリエーションなどに工夫を加え、より利用者様に楽しんで通ってもらえるようにさらに努めました。9月にはセンター初の利用者様の白寿祝いのできたことは印象深い出来事でありました。幸いなことに大きな事故やトラブルはなく、利用者様の安心・安全を最優先にスタッフ一同、細心の注意を払ってきたつもりですが、至らないところもあったと反省している次第です。平成27年度、部会としてはスタッフがより働きやすい環境作りをめざし、利用者様や会員先生方のご期待に応え、さらにサービスの向上に努めていきたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。



## 先生の名は？ ～それは秘密です～



私が、この在宅支援に携わって、たくさんの先生方との出逢いがあり、一緒に仕事をさせていただく中で、「えっ・・・先生が・・・」と、感銘をうけたエピソードをちょっと語っていいですか？明日から、皆様の関わりのある先生との距離が近づくかも・・・(笑)

### エピソード①

訪問診療の日で、先生が往診に来られる前に必要な処置、ケアをしていると、先生早めのご到着。「今、ケア中で少し待ってもらえませんか？」とお願いすると「ご苦労さん。一人で大変や～僕手伝うよ」と腕まくりしてバケツのタオルを絞って渡してくださいました。「なんて素敵な先生！」と感動しました。



### エピソード②

先生と同行訪問の日でした。患者様は寝たきりで、介護者の妻も歩行困難の要介護の状態、部屋の片付けもままならない状況でした。畳や布団、寝衣も何らかの汚染がみられる中で、先生は、何のためらいもなく膝をつき、患者様の手を取り診察されました。まだ、この仕事について日の浅かった私は、「えっ!!」と戸惑っていた心を見透かされたようで、赤面しました。患者さんに寄り添う「在宅支援の自覚」ができた出来事でした。

### エピソード③

初めてその先生からご指導いただき、患者様のことで色々とお報告して相談後、最後に「ありがとうございます。よろしくお祈りしますね。」と優しくおっしゃいました。これまで、先生からそのような丁寧な言葉をいただいたことのなかった私は、嬉しくて心躍りました。今もその先生は、変わることなく皆のスタッフ、もちろん利用者様にも同じように接していらっしゃいます。

在宅医療にかかわっておられる先生方は、患者様の身体・病気だけでなく、その患者様や家族の生活、思いを感じて診察・治療していると日々感じて仕事させていただいています。（看護師 H）

## 坂井地区医師会ケアセンター研修会を開催しました

テーマは「最新の認知症ケア」で、福井大学附属病院、認知症認定看護師の中村巳早都先生が講演されました。現在65歳以上の4人に1人は認知症の可能性があるといわれ、今後急速に増えていく事が危惧されています。講演では認知症の人を支えるポイントとして以下の点が挙げられました。

- ①できる事はしてもらいつつも、失敗して恥ずかしい思いをさせないようにフォローする。
- ②脳が活性化する、本人にとって楽しいことや、歩きながら頭を使う運動などを生活に取り入れる。
- ③せん妄の原因として、便秘や脱水、感染症などがあるので、体調の変化を見逃さない。
- ④帰宅要求があったら、本人が安心できる過去や現在の場所・空間・物などを話題にし、その近くで過ごしたり、思い出話をするのも一つの方法。
- ⑤大切なのは、本人の受け止めが正確であるかではなく納得できているかである。

認知症の患者さんを介護していると、介護者は心理的・身体的な負担が溜まってきて、つい悲観的になったり、患者さんを怒ったり責めたりする事があります。介護者の負担が幾分でも和らぐ様、認知症についての知識や理解を広め、家族のサポートができるよう努めていきたいと思ひます。

## 冬のスキンケアにワンポイントアドバイス

冬は乾燥により肌のバリア機能が低下し、刺激に敏感な状態になって肌のトラブルを起こしやすくなります

### 『乾燥肌を改善するワンポイント』

- ・保湿クリームを頻繁に外用する
- ・エアコンを調節して空気が乾燥しすぎないようにする
- ・空気が乾燥しすぎる場合は加湿器等を使用する
- ・入浴時、ナイロンタオルで強くこすらない
- ・かゆくなることがあるため、長湯や高温の入浴は控える



～編集後記～



新年あけましておめでとうございます。昨年、『けありんぐ』第1号、第2号の発刊にあたり、たくさんの方々にご協力、ご支援をいただき感謝の一年でした。本年も充実した内容の広報紙を、皆様にお届けできるよう、広報委員一同さらに励みたいと思ひます。本年も当ケアセンター、広報紙ともどもよろしくお祈り申し上げます。（塚本）



編集・発行所 坂井地区医師会ケアセンター 広報委員会

〒910-4131 福井県あわら市東善寺 5-27 電話 (0776) 73-5366 FAX (0776) 73-5363

<http://www.sakai-med.com>